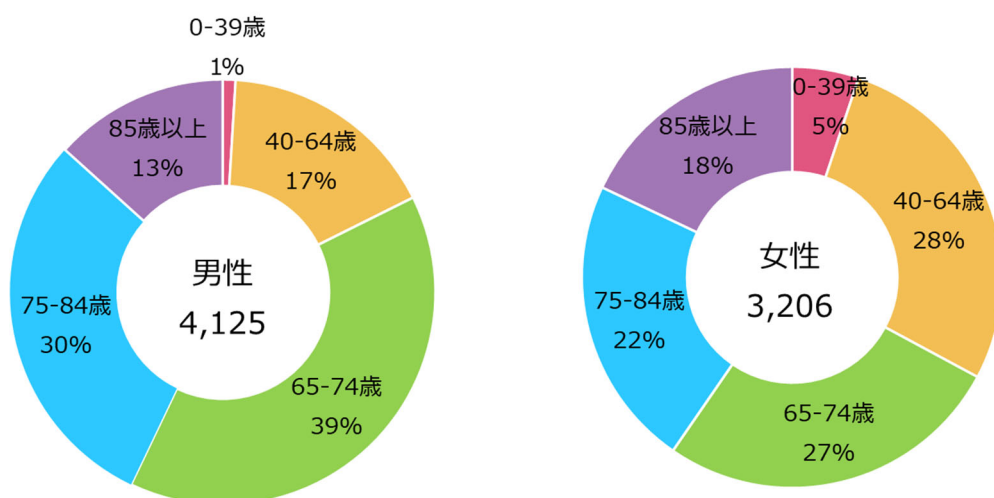


院内がん登録から見た鳥取県のがん罹患の現状（2020年）

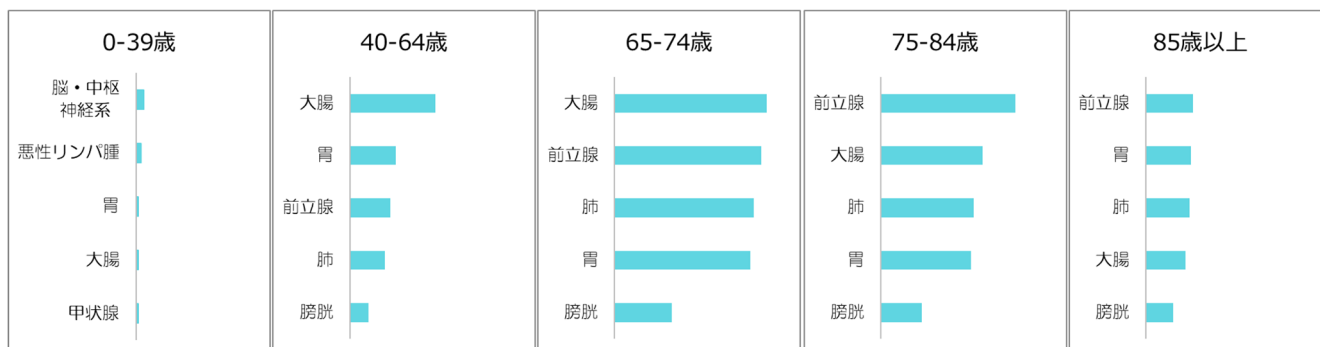
年齢区分別には、男性では、65-74歳代にピークが見られる。女性では、40-64歳代が最も多いが、65-74歳代も同等に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性が82%、女性が67%を占めている。女性は男性に比べ、0-39歳の割合が高くなっている。

部位別には、0-39歳代の男性では、多い順に脳・中枢神経系、悪性リンパ腫、胃、女性では、子宮、乳房、甲状腺、40-64歳代の男性では、大腸、胃、前立腺、女性では、乳房、子宮、大腸、65-74歳代の男性では、大腸、前立腺、肺、女性では、乳房、大腸、肺、75-84歳代の男性では前立腺、大腸、肺、女性では、大腸、乳房、胃、85歳以上では、男性は、前立腺、胃、肺、女性は大腸、胃、乳房となります。

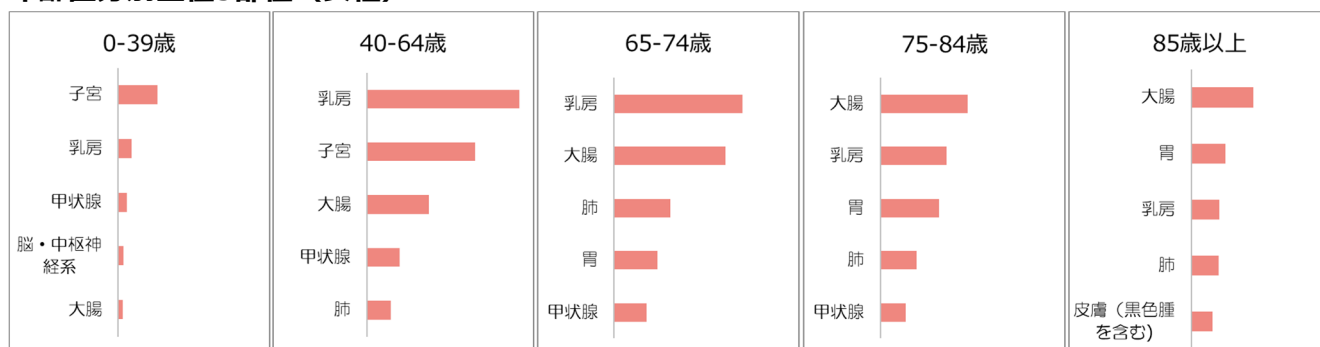
年齢階級別登録割合



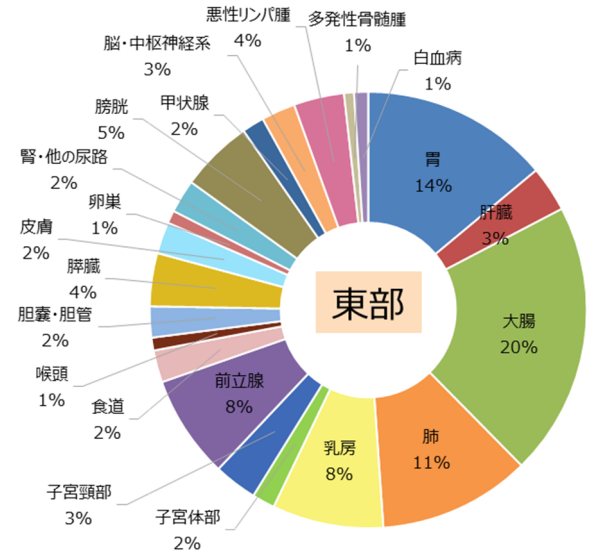
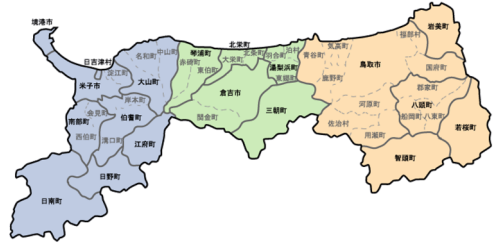
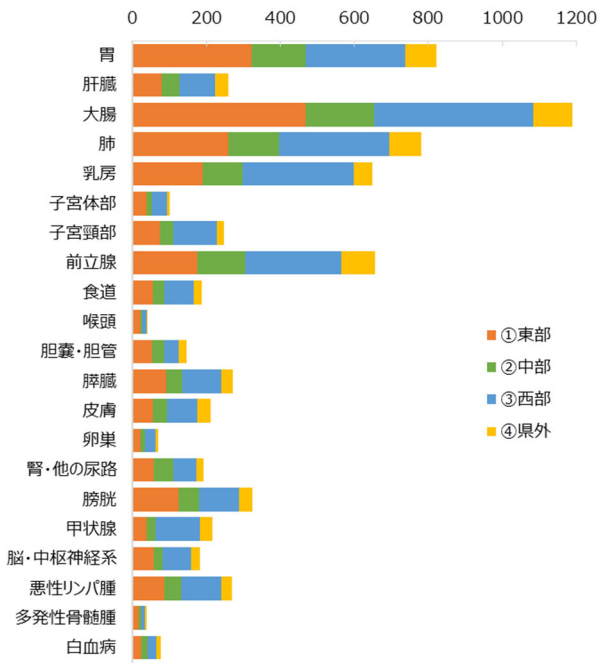
年齢区分別上位5部位（男性）



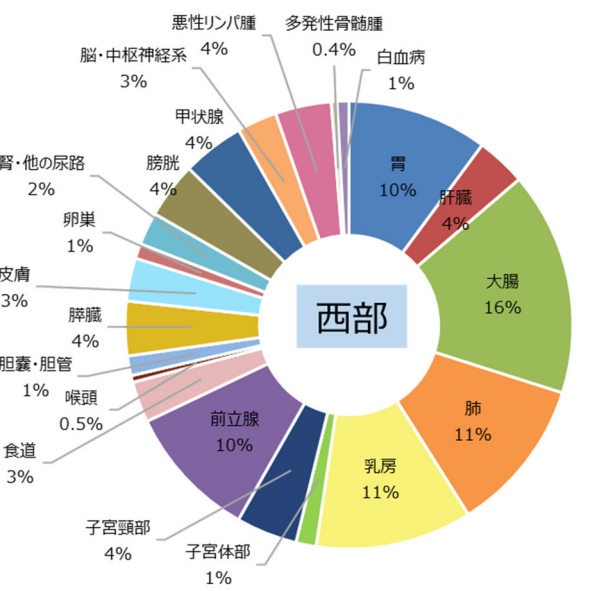
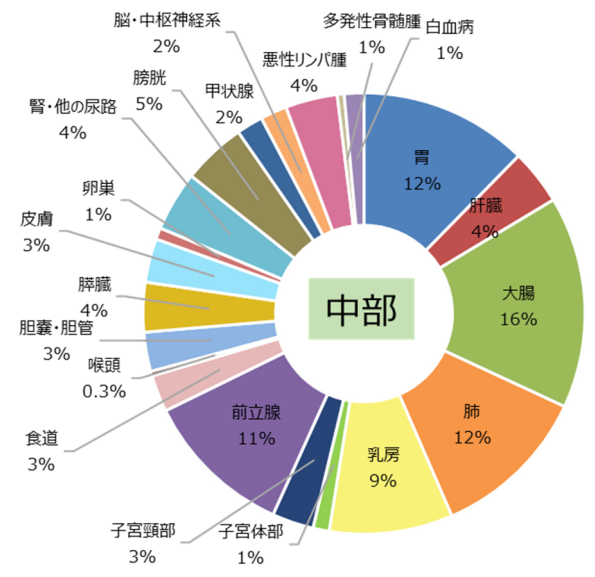
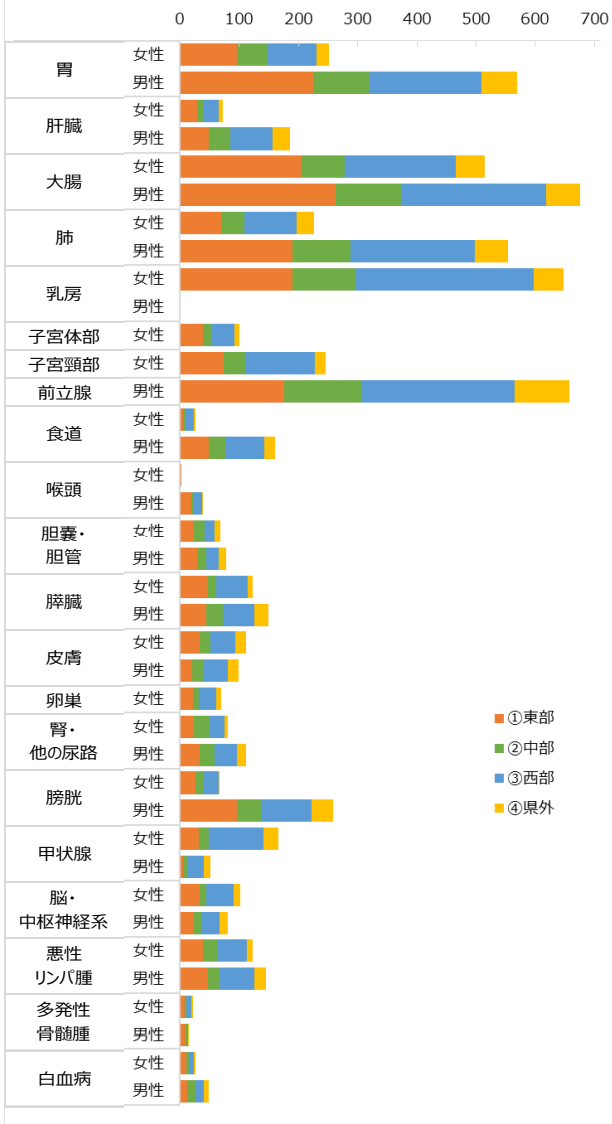
年齢区分別上位5部位（女性）



住所地別分布 男女計



住所地別分布



来院経路

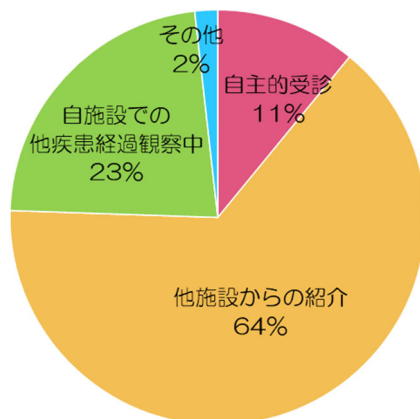
来院経路別には、「他施設からの紹介」が64%と最も多く、次いで「自施設での他疾患経過観察中」が23%、「自主的受診」は11%と少ない。

全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少ない。

施設別には、「自主的受診」は鳥取生協病院、野島病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院で最も多い。

部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は子宮体部が最も多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）



発見経緯

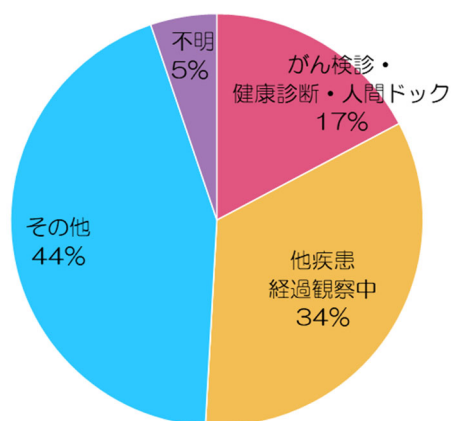
発見経緯別には、「他疾患の経過観察中」が34%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は17%と少ない。

なお、「その他」が44%と多いが、「その他」には自覚症状による受診も含まれるため、割合が多くなっていると予測される。

全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は鳥取県が全国より3.5%多く、施設別には博愛病院が最も多い。

部位別には、「がん検診・健康診断・人間ドック」は子宮頸部、乳房、胃、大腸、前立腺の順で多く、「他疾患の経過観察中」は肝臓が60%と最も多い。

発見経緯別登録割合（鳥取県）



ステージ分布（部位別、全体）

治療前では、ほとんどの部位でI期が最も多く、子宮体部と胃が最も多い。0期は子宮頸部、II期は乳房、III期は前立腺、IV期は肺が最も多い。

